

みんなのコーナー



このコーナーでは、町民の皆さんの様々な体験談や各種サークルなどの活動についてご紹介いたします。

掲載のご希望があれば、広報広聴係までご連絡ください。

なお、中傷や営利を目的とした内容は遠慮ください。

オーストラリアと

日本の違い

北海道蘭越高等学校

2年A組 曾根 未咲

私は、オーストラリアの、タスマニア州のクレモントカレッジに行ってきた。タスマニア州に行き、日本との違いで学んだことを書いていきます。

最初は、みんながとても優しいということです。私は自分から積極的に話しかけることが目標だったので、やはり最初は、なかなか話しかけることができなくて、聞いているだけで



した。クレモントカレッジの方から、紹介もあつたりしましたが、話しかけても嫌な顔一つせずに答えてくれたり、目があつただけでも、笑顔で返してくれたりと、誰に対してもすごく優しい人達だと思いました。オーストラリアに行く前に、先生から「男の人はみんなレディーファーストだよ」と言っていました。4日間くらいタスマニアにいましたが、たしかに本当だと思いました。ガドバリーチョコレート工場に、私達4人と、クレモントカ

レッジの先生1人と、生徒3人で行った時、私が買い物を終え、レジの所に行こうとしたら、一緒に来た男子生徒が、レジまで一緒に行ってくれて、私がお金を財布にしまっている間、荷物を持っていてくれて、それを当たり前のようになっているのが、すごいと思いました。私もそこまでは出来ないかもしれませんが、自然に誰にでも優しくすることをできたらいいなと思いました。

次は、車のスピードです。タスマニア州に着き、ホームステイの先生の家に行くため、車に乗り出発したら、ものすごく速いスピードで運転をして最初は驚きました。速いときは時速100キロメートルで、遅くて時速40キロメートルくらいでした。日本だったら絶対違反することだと思いました。

次に、クレモント大学に来て思ったことが、すごく

自由だと思いました。例えば、バスに乗って色々見て回っていたのですが、バスの中では普通に音楽を聴いたり、パンやお菓子などを食べたり、みんなが帰った後、バスの中にあるごみを先生が片付けていき、日本では考えられないと思いました。帰りのバスで大学に向かう途中に家がある人は、途中で降りてくれて、ここまでしてくれて、正直それはうらやましいと思いました。

次は、食事の量です。外国の人は日本よりも食べる量が多いとテレビで知っているのですが、3日目の夕食の時に、ホームステイ先の先生方とみんなで食べましたが、量がすごく多く、魚のフライ2個、ホタテのフライ、フライドポテトがいっぱいでした。イカのフライもありました。それにサラダもついて絶対食べられないと思いました。2人でも食べられない量でし

た。男の先生は1人で全部食べていましたけど、女の先生も2人で全部食べていました。私は魚のフライは2匹とも食べましたが、フライドポテトが包みの奥の方まであり、思っていたとおり食べられませんでした。その帰りに、アイス屋に行き食べると言い、さすがに食べられないので断りました。3人の先生は余裕で食べていました。4日目の夕食はステーキで、スーパーのミディアムにして頼んだのですが、見た目の大きさは普通だったので、食べたらボリュームがあり、けっこうお腹に溜まってきたので、スーパーでよかったと思いました。残念なのが中がほとんどレアでした。美味しかったです。もう少し焼いてくれたらよかったなと思いました。その後、アイスを食べに行き、無理にでも食べました。一番日本と違つのは、食事の量だと思いました。



次は、オーストラリアの動物です。4日目の午後、タスマニアの動物園に行ってきました。最初にタスマニアデビルを見てきました。名前の通り、タスマニアで見られない動物です。見た目は小さくて可愛く、もう少し大きいのかなと思っていました。飼育委員さんが説明している最中に、ズボンを引っ張ったりして、けっこう凶暴そうだと思いました。えさを食べるときは、見た目からは想像出来ないほどでした。名前にデビルがついて

いる理由がわかりました。コアラは1日20時間寝て、4時間しか起きないそうです。その4時間で食べているみたいです。脳が小さいらしく、頭が悪いと言っていました。カンガルーの群れがいて人に慣れているみたいで、おとなしかったです。えさをやり出すと食べてくれましたが、カンガルーの手が私の手を持ち、爪が刺さり痛かったです。オーストラリアではカンガルーの絵を使っている飛行機があったけど、コアラの絵は無く、その理由が、コアラは1日寝てばかりいて、動かない動物だけど、カンガルーは、一歩前進あるのみという意味があり、だからカンガルーを使うのかと思いました。動物一つ一つに意味があることを、初めて知りました。

後、驚いたことが、日本に売っているお菓子が売っていたり、ホームステイの

先生が日本車に乗っていたり、よく見るとほとんどの人が日本車に乗っていました。日本の技術は世界に認められていることを聞いたことがあるけど、実際に目にして本当にそうだったということが分かりました。聞いたりすることよりも、実際に自分で見て確かめて納得するほうが良いと思いました。

最初は不安や心配をしていたけど、今では本当に行つてよかったです。この研修で学んで経験してきたことを自分の将来に活かされたらいいなと思つています。今回は、このような機会を与えていただき、本当にありがとうございます。

蘭越町住宅エコ化

支援事業について

町では、地球環境に負荷の少ないクリーンエネルギーの普及と温室効果ガスの排出抑制など、地球温暖化対策を推進し、新エネルギーの利用と省エネルギー化を促進するため、住宅用太陽光発電システムまたはペレットストーブを設置する方に、平成22年度から補助金を交付しています。

また、今年度から、新たに既存住宅の窓、外壁、屋根・天井または床の断熱改修、当該断熱改修と一体的に行われるバリアフリー改修及び太陽熱利用システム、節水型トイレ、高断熱浴槽またはLED照明の設置費用についても対象として、事業の拡充を図っています。補助金の交付に当たり

ましては、対象設備設置工事または断熱改修の着工前等に申請手続きを行っていただく必要があります。

詳しくは、総務課まちづくり推進係 ☎57・5111 内線231までお問い合わせ願います。

